

やまぐち森林づくり推進協議会

＝第1回会議資料＝

平成24年7月25日

山口県農林水産部森林企画課・森林整備課

《資料内容のお問い合わせ先》

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(担当者) 沖原一則、中村明浩

(電話番号) 083-933-3464

目 次

◆ これまでの取り組み

 これまでの取り組み p.1

◆ 平成 24 年度事業実施計画

 1 概要 p.2

 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業） p.3

 3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業） p.12

これまでの取り組みについて

やまぐち森林づくり県民税関連事業については、荒廃したスギやヒノキの人工林を再生する「公益森林整備事業」、繁茂した竹林の整備を行う「竹繁茂防止緊急対策事業」など4つのハード事業から構成される「健全で多様な森林づくりの推進」と、森林ボランティアの活動を支援する「森林づくり活動支援事業」や本事業の展開に不可欠である、県民の理解促進を図るためのソフト事業として「県民との協働による森林づくりの推進」を柱として実施しています。

《平成23年度までの2年間の事業実績（見込）》

（単位：千円）

区分		平成22年度	平成23年度	2年間の事業実績（見込）	5年間の整備目標
		実績	実績（見込）		
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）					
公益森林整備事業	整備面積	400.43 畝	386.61 畝	787.04 畝	2,000 畝
	事業費	202,802	192,243	395,045	
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	164.18 畝	169.57 畝	333.75 畝	600 畝
	再生竹除去面積	140.82 畝	233.26 畝	374.08 畝	
	事業費	170,230	180,854	351,084	
魚つき保安林等海岸林整備事業	整備面積	1 畝	1 畝	2 畝	5 畝
	事業費	2,499	2,480	4,979	
豊かな森林づくり推進事業	事業費	14,586	14,948	29,534	—
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）					
森林づくり活動支援事業	団体数	19 団体	10 団体	29 団体	—
	事業費	7,837	4,865	12,702	
県民との協働による百年の森づくり推進事業	事業費	4,921	4,731	9,652	—
事業費計		402,875	400,121	802,996	

（注1）平成22年度事業実績の詳細は、平成22年度やまぐち森林づくりレポート（平成23年12月公表）を参照。

（注2）平成23年度事業実績の詳細は、今後、税収額等を精査した上で、平成23年度やまぐち森林づくりレポートを作成し、公表します。

平成 24 年度事業実施計画

1 概要

やまぐち森林づくり県民税関連事業の平成 24 年度事業については、平成 23 年度第 3 回推進協議会において協議し了解を得た事業計画に基づき、各市町からの要望調査等の結果を踏まえ、次表のとおり実施することとしたい。

（事業費の単位；千円）

区分	平成 24 年度事業量			平成 24 年度 予算額 (千円)	5 年間の 整備目標
	計画量	要望量	整備量 (案)		
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）					
公益森林整備事業	350 畝	368 畝	350 畝	177,444	2,000 畝
竹繁茂防止緊急対策事業	150 畝	157 畝	150 畝	203,370	600 畝
	(349) 畝	(349) 畝	(349) 畝		
魚つき保安林等海岸林整備事業	1 畝	7 畝	1 畝	2,500	5 畝
豊かな森林づくり推進事業	—	—	—	13,000	—
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）					
森林づくり活動支援事業	10 団体	10 団体	10 団体	5,000	—
県民との協働による百年の森づくり推進事業	全国植樹祭関連イベント「きららの森フェスタ」で周知啓発活動を実施 ・開催期日：平成 24 年 5 月 26・27 日 ・開催場所：山口市阿知須きらら浜			—	—
計				401,314	

（注）竹繁茂防止緊急対策事業の（ ）内数値は再生竹除去面積である。

2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業、魚つき保安林等海岸林整備事業、豊かな森林づくり推進事業のハード整備関係の4事業については、次のとおり実施することとしたい。

(1) 公益森林整備事業

水源のかん養や県土の保全など森林の持つ多面的機能の早期回復が求められる荒廃した私有林のスギやヒノキの人工林を対象に、本数率で40%以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、市町からの要望調査の結果を踏まえ、次のとおり実施したい。

① 市町からの要望量調査の結果

各市町から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ、次表のとおり計画量を5%超える結果となりました。

平成24年度計画事業量 (a)	市町要望事業量 (b)	対比 (b/a)	備考
350%	368%	105%	

② 事業実施（案）

- i) 超過量は大幅でないことから、平成24年度の実施事業量は当初の計画事業量どおり350%とします。
- ii) 各地域別の事業実施量は、各市町からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案(p.4)を策定しました。

《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町要望量と②市町別の水土保全林内の私有林における36年生以上のスギ・ヒノキ人工林の割合から求めた平成24年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町別に調整を実施。

区分		調整率
圏域別要望量 ≤ 平成24年度基準値		1.00
圏域別要望量 > 平成24年度基準値	1.00倍程度	1.00
	1.05倍程度	0.95
	1.10倍程度	0.90
	1.15倍程度	0.85

(注) 本事業は、ダム上流域、河川源流域の荒廃した私有林のスギ、ヒノキの人工林を対象に県、市町、対象森林の所有者の間で三者協定を締結し、40%以上の強度間伐を実施。所有者は整備後20年間は皆伐をしないことが条件。

公益森林整備事業実施（案）

圏域	市町名	① 市町要望量 (分)	② H24 基準値 (分)	①/② 対比	③ 調整率	④ (①×③) 計画量案 (分)
岩国	岩国市	98.50	98.27			
	和木町	0.60	0.45			
	小計	99.10	98.73	1.00	1.00	99.10
柳井	柳井市	1.80	1.76			
	周防大島町	1.90	1.84			
	上関町	0.00	0.18			
	平生町	0.60	0.64			
	小計	4.30	4.41	0.97	1.00	4.30
周南	周南市	57.00	64.76			
	下松市	10.00	4.18			
	光市	4.00	1.48			
	田布施町	0.92	0.73			
	小計	71.92	71.15	1.01	1.00	71.92
山口 防府	山口市	45.00	43.14			
	防府市	2.00	1.97			
	小計	47.00	45.11	1.04	0.95	44.65
宇部 小野田	宇部市	5.00	7.06			
	山陽小野田市	2.00	3.46			
	美祿市	47.00	38.80			
	小計	54.00	49.33	1.09	0.90	48.60
下関	下関市	21.50	21.23			
	小計	21.50	21.23	1.01	1.00	21.50
長門	長門市	15.50	13.26			
	小計	15.50	13.26	1.17	0.85	13.18
萩	萩市	45.00	42.66			
	阿武町	10.00	4.12			
	小計	55.00	46.78	1.18	0.85	46.75
計		368.32	350.00	1.05		350.00

(2) 竹繁茂防止緊急対策事業

水源林や公共施設、住宅地の周辺などにおける繁茂竹林を対象に、繁茂した竹の全伐と再生竹の除去による継続的な管理を行うことにより、豊かな森林への回復を誘導する本事業については、市町からの要望調査の結果を踏まえ、次のとおり実施したい。

① 市町からの要望調査の結果

各市町から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ、次表のとおり計画量を5%超える結果となりました。

平成24年度計画事業量 (a)	市町要望事業量 (b)	対比 (b/a)	備考
150 畝	157 畝	105 %	

② 事業実施（案）

- i) 超過量は大幅でないことから、平成24年度の実施事業量は当初の計画事業量どおり150畝とします。
- ii) 各地域別の事業実施量は、各市町からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案(p.6)を策定しました。

《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町要望量と②市町別の水土保全林内の私有林における竹林の割合から求めた平成24年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町別に調整を実施。

区分		調整率
圏域別要望量 ≤ 平成24年度基準値		1.00
圏域別要望量 > 平成24年度基準値	1.00倍程度	1.00
	1.05倍程度	0.95
	1.10倍程度	0.90

(注) 本事業はダムや身近な生活の場等の周辺の繁茂した竹林を対象に、県、市町、対象竹林所有者の間で三者協定を締結し、竹の伐採と再生竹の伐採（竹の伐採の後、再生する新たな竹を3年間全伐）を行うもの。対象竹林の所有者は9年間、竹林として使用しないことが条件。

竹繁茂防止緊急対策事業実施（案）

圏域	市町名	① 市町要望量 (㊦)	② H24 基準値 (㊦)	①/② 対比	③ 調整率	④ (①×③) 計画量案 (㊦)
岩国	岩国市	11.30	11.33			
	和木町	0.30	0.26			
	小計	11.60	11.59	1.00	1.00	11.60
柳井	柳井市	3.50	3.46			
	周防大島町	1.45	1.46			
	上関町	0.00	0.74			
	平生町	1.40	1.47			
	小計	6.35	7.13	0.89	1.00	6.35
周南	周南市	26.50	22.73			
	下松市	2.95	3.22			
	光市	6.00	5.70			
	田布施町	3.00	2.89			
	小計	38.45	34.55	1.11	0.90	34.61
山口 防府	山口市	10.10	10.10			
	防府市	3.00	2.99			
	小計	13.10	13.09	1.00	1.00	13.10
宇部 小野田	宇部市	6.00	6.45			
	山陽小野田市	2.00	2.07			
	美祇市	18.00	15.90			
	小計	26.00	24.42	1.06	0.95	24.70
下関	下関市	20.30	20.19			
	小計	20.30	20.19	1.01	1.00	20.30
長門	長門市	15.50	14.51			
	小計	15.50	14.51	1.07	0.95	14.73
萩	萩市	23.00	22.09			
	阿武町	2.90	2.44			
	小計	25.90	24.52	1.06	0.95	24.61
計		157.20	150.00	1.05		150.00

(3) 魚つき保安林等海岸林整備事業

荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備を行う本事業については、市町からの要望調査による対象箇所を踏まえ、次のとおり実施したい。

① 事業実施箇所の選定

- i) 本事業については、各年度1畝の整備を想定し、5ヵ年間で5畝の整備を計画しています。
- ii) 市町からの要望を踏まえ、①計画の具体性、②緊急性、③事業効果の高い箇所を優先して選定します。

② 事業実施（案）

事業実施箇所の選定の結果、次の1箇所において事業を実施します。

市町名	所在地	面積（畝）	事業内容
下関市	白崎	1.00	抵抗性きららマツ及び広葉樹植栽、枯損木除去

（注）市町からの要望箇所については次表を参照。

参 考

◆ 魚つき保安林等海岸林整備事業（要望箇所一覧表）

圏域	市町名	所在地	面積（畝）	整備年度	摘要
下松	下松市	大字笠戸島字 小城岬	1.00	23年度	抵抗性きららマツ植栽 防風垣
山口 防府	防府市	大字富海字八崎	1.00		
下関	下関市	白崎	1.00	24年度	抵抗性きららマツ及び 広葉樹植栽、枯損木除去
	下関市	豊北町大字 神田上	1.00		前期計画地
	下関市	豊北町大字阿川	1.00	22年度	前期計画地 抵抗性きららマツ植栽 防風垣
長門	長門市	仙崎字波の橋立	1.00		
萩	萩市	下田万字宇生	1.00		
計	5市		7.00		

（注） 平成22・23年度事業実施箇所
 平成24年度事業実施予定箇所

(4) 豊かな森林づくり推進事業

植生の回復が遅れている既事業地のフォローアップを行うとともに、本県の森林の特性等を踏まえた豊かな森林づくりを進めるための先進的な事業等をモデル的に実施する本事業については、現地状況等を踏まえ次のとおり実施したい。


① 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

i) 公益森林整備事業地

事業対象地の概要

植生の回復が遅れている原因	対応策	事業計画
(1) シダ等が繁茂している。	(1) シダ等を除去し、シダ等の影響を受けにくい大苗を植栽する。	(1) 林内整理。 (2) 広葉樹（郷土樹種）の植栽。 ① 事業地周辺において良好に生育している主な樹種。 アラカシ、コナラ、シラカシ、シロダモ、タブノキ、ネズミモチ、ヒサカキ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ヒメユズリハ等 ② 植栽本数。 広葉樹の生育本数が 1,000 本となるよう植栽する。（0.1 畝で 100 本植栽） (3) シカ食害防止用資材の設置。
	(2) 事業地に近い広葉樹の樹種を選定し植栽する。	
(2) シカの食害を受けている。	(3) シカの食害を防止するための資材を用いて植栽する。	
(3) 北向き斜面など局地的地形による照度不足。	(4) ある程度の照度を確保するための整理伐を行い植栽する。	

事業実施箇所（案）


圏域	所在地	面積 (畝)	植生の回復が遅れている原因	現地の状況
岩国	岩国市美和町	0.1	・シダ繁茂 ・谷地形	
周南	下松市 大字下谷	0.2	・谷地形	
宇部 小野田	山陽小野田市 大字厚狭	0.2	・谷地形	
下関	下関市菊川町	0.3	・北向き斜面 ・シカの食害	
萩	萩市大字弥富	0.3	・シダ繁茂 ・谷地形	
計（5箇所）		1.1		シダが繁茂し、広葉樹の発生を阻害している。

ii) 竹繁茂防止緊急対策事業地

事業対象地の概要

植生の回復が遅れている原因	対応策	事業計画
(1) シダ、ササ等が繁茂している。	(1) シダ等を除去し、シダ等の影響を受けにくい大苗を植栽する。	(1) 林内整理。 (2) 広葉樹（郷土樹種）の植栽。 ① 事業地周辺において良好に生育している主な樹種。
(2) 草本類が繁茂している。	(2) 草本類を除去し、下草の影響を受けにくい大苗を植栽する。	アラカシ、コナラ、シラカシ、シロダモ、スタジイ、タブノキ、ヒサカキ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ユズリハ等 ② 植栽本数。 広葉樹の生育本数が 1,000 本となるよう植栽する。（0.1 畝で 100 本植栽）
(3) シカの食害を受けている。	(3) シカの食害を防止するための資材を用いて植栽する。	(3) シカ食害防止用資材の設置。

事業実施箇所（案）

圏域	所在地	面積 (畝)	植生の回復が遅れている原因	現地の状況
柳井	柳井市 大字柳井	0.1	・草本類の繁茂	
周南	周南市 大字大河内	0.3	・ササの繁茂	
宇部 小野田	美祢市秋芳町	0.1	・草本類の繁茂	
長門	長門市俵山	0.8	・シダの繁茂 ・シカの食害	
萩	萩市 大字高佐下	0.1	・ササの繁茂	
計（5箇所）		1.4		草本類が繁茂し、広葉樹の発生を阻害している。


② 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

i) 耕作放棄地における竹繁茂対策

事業対象地の概要

現地の状況	モデル性	事業計画
耕作放棄地に竹が繁茂し周辺の山へ侵入している。	○竹の伐採による広葉樹等の自然林への誘導。	<ul style="list-style-type: none"> ・繁茂竹林の伐採 ・再生竹の除去 (平成 25 年度～)

事業実施箇所（案）

圏域	所在地	面積 ($\frac{1}{100}$ ha)	事業内容	現地の状況
周南	田布施町 大字麻郷奥	0.2	<ul style="list-style-type: none"> ・繁茂竹林の伐採 ・再生竹の除去 (平成 25 年度～) 	
山口 防府	山口市阿知須	0.6		
宇部 小野田	美祢市 東厚保町	0.8		
下関	下関市菊川町	0.4		
計（4箇所）		2.0		耕作放棄地に竹が侵入している。

ii) 海岸地域における緑化対策

事業対象地の概要

現地の状況	モデル性	事業計画
当海岸林は後背の集落や農地を日本海の強い海風から守ってきたが、松くい虫被害等により松林が枯損して無立木地化し、森林の持つ防風・防潮等の機能が低下している。	<p>○無立木地化した現地に多様な樹種構成の森林を造成して、防風・防潮等機能の高い森林の早期回復を図る。</p> <p>・現地に既存の人工盛土（高さ 3m）を植生基盤として活用。</p> <p>・低木性～中高木性の広葉樹を混植し多重階層の森林を造成。</p>	<p>○確実な森林への誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮風害に強い樹種の植栽 <p>植栽樹種 トベラ、マサキ、ハマビワ、エノキ等。</p>

事業実施箇所（案）

圏域	所在地	面積 (ha)	事業内容	現地の状況
萩	阿武町 大字奈古	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地拵え ・広葉樹の植栽 	
計（1箇所）		1.0		松くい虫被害により防風・防潮効果が低減している。

iii) 荒廃したアカマツ林の再生対策

事業対象地の概要

現地の状況	モデル性	事業計画
松くい虫被害を受けたアカマツ林で、シダ類が繁茂するなど天然更新による森林の再生が阻害されている。（豪雨災害の防止）	<p>○シダ類の除去等による天然更新の促進と、無立木地への植栽との併用により、森林の再生を図る。</p> <p>○様々な特性を持つ樹種を植栽し、災害に強い森林を育成する。</p> <p>・母樹の保残、シダ類除去等による天然更新の促進。</p> <p>・現地適合樹種の植栽による森林の造成。</p>	<p>○確実な森林への誘導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然更新を促進するための地拵え。（シダ類の除去、地搔き） ・松くい虫抵抗性苗木及び痩せ地や乾燥に強い樹種を主体とした多様な樹種の植栽。 <p>○森林の表層崩壊防止機能に着目した樹種選定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深根性、浅根性等の樹種を混植。 <p>植栽樹種 アカマツ、コナラ、ヤマザクラ、ヤマハギ、アセビ等。</p>

事業実施箇所（案）

圏域	所在地	面積 (ha)	事業内容	現地の状況
山口 防府	防府市 大字鈴屋	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地拵え ・抵抗性アカマツと広葉樹の植栽 	
計（1箇所）		2.0		松くい虫被害による無立木地が多く存在する。

3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

(1) 森林づくり活動支援事業の採択について

① 応募団体一覧

番号	所在地	団体名	事業概要	整備面積 (ha)	申請金額 (千円)
1	岩国市	やまぐちログ匠の会	森林整備（間伐）、竹林整備、都市住民との交流（森林整備、木材加工、木工・竹細工）	2.10	500
2	周防大島町	特定非営利活動法人 周防大島ふるさとづくりのん太の会	竹林整備、都市住民との交流（竹伐り大会）	0.60	500
3	田布施町	多賀の森の会	竹林整備、都市住民との交流（森林整備、植樹）	0.80	500
4	周南市	長田町自治会 竹林ボランティア隊	森林整備（下刈）、竹林整備、歩道整備、地域住民との交流（植樹）	0.92	500
5	防府市	佐波川流域森づくりの会	森林整備（下刈、地拵え）、都市住民との交流（植樹）	0.54	500
6	宇部市	胡麻稲里山づくりの会	森林整備（除・間伐）、竹林整備、都市住民との交流（植樹）	0.12	500
7	宇部市	東岐波里海再生の会	海岸林整備（下刈）、静砂垣、地域住民との交流（講演会、植樹）	0.05	455
8	美祢市	特定非営利活動法人 やまぐち里山ネットワーク	森林整備、竹林整備、都市住民との交流（里山文化祭）	1.15	500
9	長門市	竹林ボランティア俵山	竹林整備、小学生・都市住民との交流（竹林整備、竹細工）	0.20	500
10	萩市	大井浦共有会	海岸林整備（下刈、地拵え）、地元住民との交流（植樹）	1.00	500

② 審査方法

応募された事業については、事務局において審査基準に基づき審査整理表を作成し、「やまぐち森林づくり推進協議会」での意見を踏まえ、県が最終的に決定します。

③ 審査基準

事業の審査は、下表に基づいて行います。

審査項目	評価の観点	評点
波及性	幅広い県民の意識の醸成や活動の輪づくりに繋がっているか。また、活動人数等から波及効果が期待できるか。	5
実現性	確実に実現できる能力、実績等があるか。	5
効率性	適正な経費でコスト削減に努めているか。また、整備面積等から事業効果が期待できるか。	5
継続性	単発的な活動でなく、次年度以降も継続される可能性があるか。	5
独自性	地域の実情や特性に応じ、創意工夫がなされているか。	5
評点合計		25

④ 審査結果

採択予定団体は次のとおりです。

番号	所在地	団体名	補助金額 (千円)	備考
1	周防大島町	特定非営利活動法人 周防大島ふるさとづくりのん太の会	500	
2	防府市	佐波川流域森づくりの会	500	
3	美祢市	特定非営利活動法人 やまぐち里山ネットワーク	500	
4	岩国市	やまぐちログ匠の会	500	
5	周南市	長田町自治会 竹林ボランティア隊	500	
6	長門市	竹林ボランティア俵山	500	
7	田布施町	多賀の森の会	500	
8	宇部市	胡麻稲里山づくりの会	500	
9	宇部市	東岐波里海再生の会	455	
10	萩市	大井浦共有会	500	
計	10 団体		4,955	

(2) 県民との協働による百年の森づくり推進事業（周知啓発事業）

広報ツールやパブリシティを積極的に活用し、税の導入目的や税制度の内容などについての周知を行うとともに、タケノコ採りや現地説明会など事業箇所を活用した取り組みを行うことで、県民への一層の周知を図ります。

周知活動の実施案

1 広報ツールを活用した周知活動の実施

- (1) 県の施設や民間企業・消費者団体、各種イベント等における周知パネルの展示。
- (2) 県や市町の関係施設等へのリーフレットの配布。
- (3) やまぐち森林づくりレポートの作成・公表。
- (4) 県民税周知のための横断幕の活用。
- (5) 県民税事業を周知するための看板の設置の検討。

2 税関連事業の事業地を活用した周知活動の実施

- (1) 公益森林整備事業地を活用した現地説明会の開催。
- (2) 竹繁茂防止緊急対策事業地を活用したタケノコ採り（実施済み）の開催。
- (3) モデル林の周知と現地見学会の開催。
- (4) 「やまぐち森林づくり週間」において、広く県民へ周知するために地域イベントと連携した周知活動を実施。
- (5) 事業地で伐採された木材や竹材を各種イベント等で活用。

3 やまぐち森林づくり推進協議会の開催

- (1) 協議会の開催。
- (2) 県のホームページで協議内容等を掲載。

4 周知率の低い方に対する周知活動（下関地域、宇部・小野田地域の若年層の女性や主婦への周知活動）

- (1) 各種団体等へのお出前講座の開催。
- (2) ケーブルテレビによる地域イベント開催の告知。
- (3) 女性や主婦の目にとまるスーパーや公民館などへのリーフレットの配置など。

5 その他の広報活動

- (1) きらら物産・交流フェアなどのイベントに合わせた周知活動。
- (2) 県政出前トークの活用。
- (3) 県政放送等（県広報誌「ふれあい山口」の活用、新聞広告等）や市町、森林組合広報誌などへの掲載。
- (4) プレスリリースなどを積極的に活用し、引き続きパブリシティを通じた周知を促進。
- (5) 県政世論調査による周知度の測定等を行い、周知活動に反映。

全国植樹祭関連イベント「きららの森フェスタ」の開催状況

- 1 開催日時：平成 24 年 5 月 26 日（土）・27 日（日）
- 2 開催場所：山口市阿知須きらら浜
- 3 来場者数：約 34,000 人



◆ 来場者を歓迎する「竹の歓迎アーチ」



◆ 「周防大島子ども太鼓」によるオープニングイベント



◆ 「フラワータワーと萩商工生徒製作のログハウス」



◆ 「全長 44m のフラワーロード」



◆ 「パネル展示と竹楽器の展示による県民税 PR コーナー」



◆ チェンソーアートによる「森の動物園」